



## 市職員全員が「救命講習」受講率 100%を目指します

河内長野市消防本部は8月2日、市職員を対象に救命講習を実施しました。

市職員に対する救命講習は平成15年から取り組んでおり、本年中に全職員（643人）が受講を終え、100%の受講率となる見込みです。なお、次回の救命講習は11月中旬に2回実施する予定です。

消防本部ではAEDの設置が進む中、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）による応急手当実施向上に努めており、毎年市民3000人の受講を目標に取り組んでいますが、職員については全員の受講には至っていません。

人は、心臓が止まると15秒以内に意識がなくなり、3～4分以上そのままの状態が続くと脳がダメージを受け回復が難しくなります。救急車が到着するまでの間、バイスタンダーが心肺蘇生の実施やAEDを使用することが最も大切です。

市職員が率先して応急手当を習得することにより、市民の手本となると期待して、併せて救命率の向上に努め、安全安心な街づくりを目指します。



8月2日に実施した救命講習の様子

問い合わせ

河内長野市消防署・警備課 TEL：0721-53-5681